

[要点]

- (1) 1960年以降、即席ラーメンなどのインスタント食品が普及した。1965年に電子レンジと冷凍冷蔵庫が発売され、その普及により冷凍食品、レトルト食品が出回るようになった。1970年代になると、ファーストフード店やファミリーレストランなどの外食産業が目立つようになった。現在、日本は多くの食料を輸入し食の国際化が進んだが、食料自給率は年々低下の傾向にある。
- (2) 1980年代に週休2日制が普及し、日本人の余暇時間が増加した。現代の日本は、子供の数が減り、人口に占める高齢者の割合が高い少子高齢社会になってきている。高齢者の中には、地域の清掃活動などのボランティア活動を行っている人々がいる。

[A問題：要点確認]

- (1) 1960年以降、即席ラーメンなどの()食品が普及した。1965年に()と()が発売され、その普及により冷凍食品、レトルト食品が出回るようになった。1970年代になると、ファーストフード店やファミリーレストランなどの()産業が目立つようになった。現在、日本は多くの食料を輸入し食の()が進んだが、食料自給率は年々()の傾向にある。
- (2) 1980年代に()制が普及し、日本人の余暇時間が増加した。現代の日本は、子供の数が減り、人口に占める高齢者の割合が高い()社会になってきている。高齢者の中には、地域の清掃活動などの()活動を行っている人々がいる。

[B問題]

- (1) 1958年には、即席ラーメンが発売され、続いて、熱湯をそそぐだけという簡単な調理法で済むコーヒーや味噌汁などが60年以降急速に家庭に浸透した。このような簡単な調理法で済む食品を何食品というか。
- (2) 1965年にある電化製品が発売され、その普及とともに冷凍食品、レトルト食品が出回るようになり、食卓の変革が起こった。この電化製品は何か。2つあげよ。
- (3) ファーストフード店やファミリーレストランなどを総称して何産業というか。
- (4) 現在、食卓には世界各国の食品が並んでいる。これを何というか。
- (5) ある食料の国内で消費される量のうち、国内で生産される量の割合を何というか。

[解答]

- (1) インスタント食品 (2) 電子レンジ , 2ドア冷凍冷蔵庫 (3) 外食産業 (4) 食の国際化 (5) 食糧の自給率

[C問題]

- (1) 1958年には即席()が発売された。
- (2) 1965年に電子レンジと冷凍冷蔵庫れいとうれいぞうこが発売されたが、その普及にともなってどのような食品が出来るようになったか。2つあげよ。
- (3) (2)やインスタント食品の普及により、食の()化がすすんだ。
- (4) 栄養水準の上昇や公衆衛生・医療技術の改善は、子どもたちの(A)を向上させ、日本人の(B)を世界のトップクラスにおし上げた。

[解答]

- (1) ラーメン (2) 冷凍食品れいとう、レトルト食品 (3) 簡便 (4)A 体格 B 平均寿命

[C問題]

- (1) 食料の自給率は増加傾向にあるか、それとも低下傾向にあるか。
- (2) 日本で食料の自給率が1番高いのは何か。
- (3) 日本で食料の自給率が1番低いのは、何か。
- (4) 日本で2番目に食料の自給率が低くて、パンやパスタ類、うどん等の原料になるものは何か。

[解答]

- (1) 低下傾向にある (2) 米 (3) 大豆だいず (4) 小麦

[B問題]

- (1) 1980年代に日本人の余暇時間よかが増加したが、それはなぜか。
- (2) 自ら進んで自分の技能や時間を、社会に提供する奉仕活動ほうしを何というか。

[解答]

- (1) 週休2日制ひまひゅうが普及したため (2) ボランティア

[C問題]

- (1) 日本において週休2日制が普及したのは何年代か。
- (2) 1980年代には週休二日制が普及し、人々の()時間が増えた。
- (3) (2)の時間の増加によって、人々は旅行などのレジャーを楽しむようになった。これを背景にレジャーを目的にした大型開発がさかんに行われたが、これを何というか。

[解答]

- (1) 1980年代 (2) 余暇 (3) リゾート開発

[C問題]

- (1) 第1次産業の具体例を1つ答えよ。
- (2) 国民の生活水準が向上するなかで発達した、情報産業や宅配便産業、リース産業などのような産業を何というか。また、それは第何次産業になるか。
- (3) 日本の産業は、1950年からどのように変化してきたか。

[解答]

- (1) 農業(漁業, 林業) (2) サービス産業, 第三次産業 (3) 第1次産業が減少し, 第3次産業が増加した

[C問題]

右のグラフを見て各問いに答えよ。

- (1) 1950年まで、産業別就業者の割合が最も多かったのはどの産業か。
- (2) 1950年から1998年までで産業別就業人口の割合が最も減少しているのはどの産業か。
- (3) 1950年から1998年までで、産業別就業者の割合が最も増加しているのは何産業か。
- (4) 次はそれぞれ第何次産業になるか。

鉱業, 建設業, 漁業, 林業,
リース産業, 運輸業, 製造業,
金融業, 農業, 情報産業 農業

[解答]

- (1) 第一次産業 (2) 第一次産業 (3) 第三次産業 (4) 一次 二次 一次
一次 三次 三次 二次 三次 一次 三次 一次

産業別の就業者割合

	第一次産業	第二次産業	第三次産業
1950年 (3602万人)		22	30
1970年 (5259万人)	34		47
1980年 (5581万人)	34		55
1990年 (6168万人)	33		59
1998年 (6793万人)	31.4		63

[印刷 / 他のPDFファイルについて]

このファイルは、FdText社会の一部をPDF形式に変換したサンプルで、印刷はできないようになっています。製品版のFdText社会はWord(または一太郎)の文書ファイルで、印刷・編集を自由に行うことができます。

弊社は、FdTextのほかにFdData中間期末過去問(社会・理科・数学)(各18,000円)(Word版・一太郎版)を販売しております。PDF形式のサンプル(全内容)は、

<http://www.fdtype.com/dat/> に掲載しております。

下図のような、[FdData無料閲覧ソフト(RunFdData)]を、Windowsのデスクトップ上にインストールすれば、FdData中間期末・FdData入試の全PDFファイル(各教科約1500ページ)を自由に閲覧できます。次のリンクを左クリックするとインストールが開始されます。

RunFdData(Word版) 【 <http://www.fdtype.com/lnk/instRunFdDataWDs.exe> 】

RunFdData(一太郎版) 【 <http://www.fdtype.com/lnk/instRunFdDataTAs.exe> 】

ダイアログが表示されたら、【実行】ボタンを左クリックしてください。インストール中、いくつかの警告が出ますが、[実行][許可する][次へ]等を選択します。

【イメージ画像】



【Fd教材開発 : URL <http://www.fdtype.com/dat/> Tel (092) 404-2266】